

2026年4月30日

各 位

会社名 サイボウズ株式会社  
本店所在地 東京都中央区日本橋二丁目7番1号  
代表者の役職氏名 代表取締役社長 青野 慶久  
(コード番号4776 東証プライム)  
問い合わせ先 IR担当  
電話番号 03-6671-9525

## 愛媛県におけるアリーナ建設の本格的な検討開始に関するお知らせ

当社は、愛媛県におけるアリーナ建設について調査を進めておりましたが、調査結果を踏まえて本格的な検討を開始することを2026年4月30日開催の取締役会において決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、現時点では検討段階であり、建設するか否かは決定しておりません。

### 記

#### 1. 背景

当社は、2025年6月に株式会社エヒメスポーツエンターテイメントを連結子会社化し、プロバスケットボールチーム「愛媛オレンジバイキングス」の経営に参画いたしました。参画後、初年度となるB2リーグの2025-26シーズンは、レギュラーシーズン西地区2位となり、クラブ史上初のプレーオフ進出を決めることができました。

今後も短期的にはスポーツ事業の堅実な成長を目指して活動いたしますが、中長期的には地域活性化・地域DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進とまちづくりへの貢献を目指しています。その中で、アリーナ建設については、自治体や企業、地域の住民の方々と連携し、オープンに議論をしながら検討を進めたいと考えております。これまで、各地のアリーナの視察を重ね、専門業者の知見も借りながらビジネスモデルや候補地等の調査を進めてまいりましたが、今回、その調査結果として基本構想案がまとまったため、それを踏まえた本格的な検討を開始することといたしました。

#### 2. 基本構想案の概要

ローコストでのアリーナ建設にノウハウと強みを持つコンサルティング会社に協力を依頼し、基本構想案を作成いたしました。現時点で候補地は未定ですが、土地の面積に制限がない仮定で工事金額や収支を概算しております。

アリーナに求める要件	・収容人員5,000人以上、常設のVIPルーム等のBプレミア基準を満たせること ・建設費をできるだけ抑えながらも、十分な顧客体験を提供できること ・周辺エリアの開発と併せて、採算が取れるビジネスを設計できること
土地面積	周辺エリアの開発を見込むため、10,000㎡（100m×100m）以上が望ましい
候補地	現時点では未定であり、愛媛県内で要件を満たす土地を検討中
概算工事金額※	現時点では建設費として約105億円、設備費として約5億円を想定 ただし、今後さらなる資源高やインフレ等により150億円程度まで膨らむ可能性もある
収支シミュレーション	次ページ「収支シミュレーションに基づく利益累計の推移」参照

※「概算工事金額」のうち、当社が負担する投資額は自治体や関係者と協議しながら検討を進める予定です。

#### 3. 今後の見通し

年内を目途にアリーナ建設の候補地を選定することを予定しておりますが、現時点では検討段階であり、建設するか否かは決定しておりません。また、「2. 基本構想案の概要」の「概算工事金額」のうち、当社が負担する投資額についても自治体や関係者と協議しながら検討を進める予定であり、現時点では本件が当社の業績に与える影響等は未定です。

進捗がありましたら、改めて適時にお知らせいたします。

## 収支シミュレーションに基づく利益累計の推移

現時点の収支シミュレーションに基づく利益累計の推移は下のグラフのとおりです。

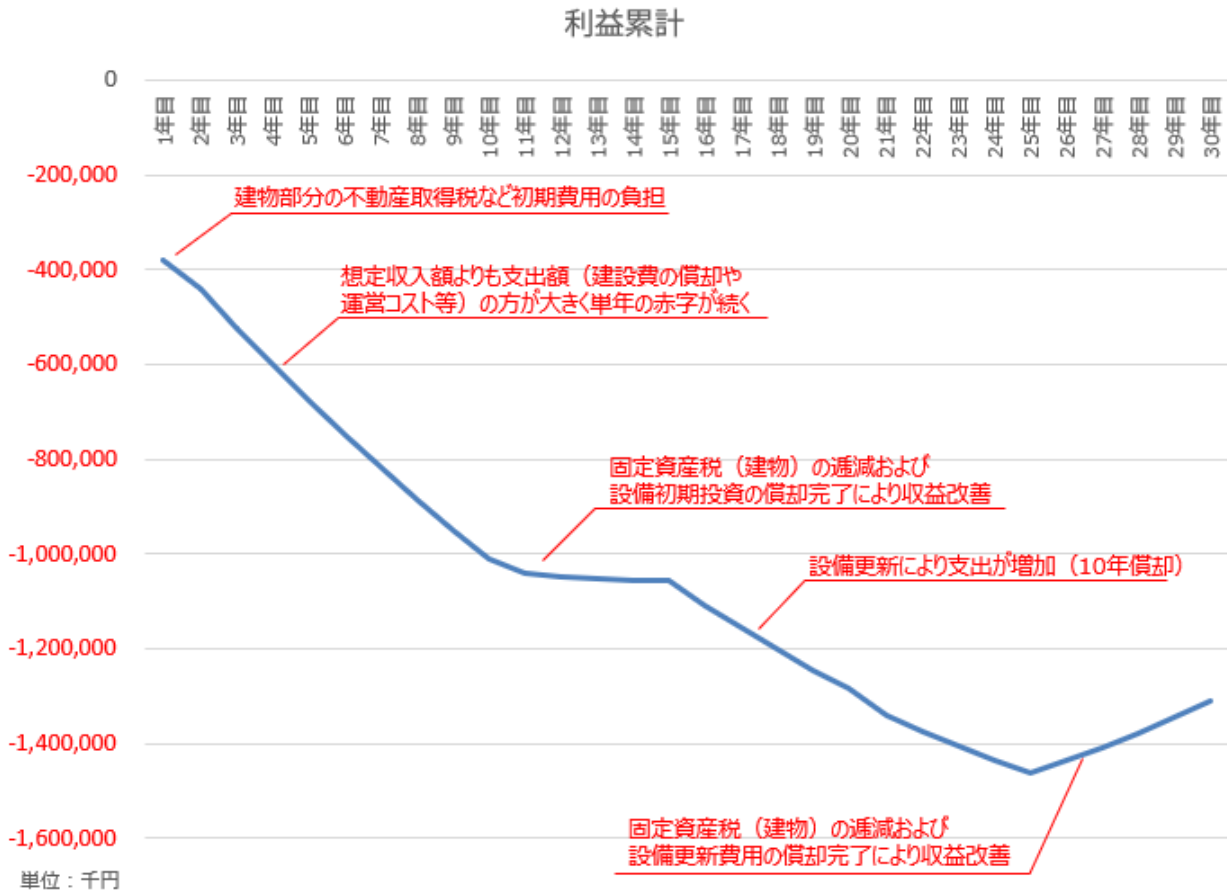
アリーナの稼働開始から30年経過後も約13億円の累計損失となっていますが、民設民営で工事金額等を全額負担すると仮定した場合のシミュレーションであり、当社が負担する投資額は自治体や関係者と協議しながら検討を進める予定です。その他のシミュレーションの前提となる仮定も、今後の検討進捗により変更となる可能性があります。

検討の結果、投資の回収が見込めないと判断した場合は、建設しない結論となる可能性もありますが、自治体や企業、地域の住民の方々と連携し、オープンに議論をしながら採算が取れるビジネスを設計していく予定です。

(シミュレーションの前提となる仮定)

- ・工事金額を建設費105億円、設備費5億円として、建設費は30年、設備費は10年で償却
- ・定期的な修繕や更新投資を実施
- ・民設民営として、工事金額や運営費の全額を負担し、付随する固定資産税や不動産取得税等を支払う
- ・土地は借地として、借地料を支払う
- ・Bリーグや音楽イベント等のイベント開催による利用料の他、ネーミングライツや飲食、物販等の売上高を計上
- ・年間稼働日は、平日が91日で稼働率37%程度、土日祝日が84日で稼働率70%程度とする

(利益累計の推移グラフ)



※ 当収支シミュレーションは収益を保証するものではありません。

以 上